

【アゼルバイジャン経済トピック 114 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2023 年 6 月 9 日

ギリシャ・ブルガリア間 IGB 天然ガスパイプラインの輸送実績

2022 年 10 月 1 日に運用が開始された IGB 天然ガスパイプラインに関し、10月 1 日から11月1日までの輸送実績が 9, 500 万立方メートルであることが公表されました。

同天然ガスパイプラインは、全長 182km で南ガス回廊が繋がるギリシャ国内の天然ガス施設からブルガリアに接続しており、Bulgarian Energy Holding(ブルガリアの国有企業)と IGI Poseidon(ギリシャ国有企業及びイタリア大手 Edison の合併) が、それぞれ 50% を出資した IGDB AD により運用がなされています。

アゼルバイジャンから同天然ガスパイプラインを通じてブルガリアへ供給されるガス量は、年間 10億立方メートルとなる見込みで、これはブルガリアの年間天然ガス需要の 25~30%程度の容量となります。長期的には、年間 50 億立方メートルの輸送量を確保する計画もあります。

ブルガリアから第三国へ繋がる天然ガスパイプラインもあるため、欧州全体のエネルギー安全保障に資する可能性も期待されます。

(以上)